

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

令和8年1月14日

協議会名: 九十九里町地域公共交通会議

評価対象事業名: 九十九里鉄道株式会社

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
九十九里鉄道(株) 片貝循環豊海線	東金駅～家徳・幸田～東金駅	<p>関係市町とともに、バスの認知度向上及びバス利用の促進を図るため、広報誌やHP・SNS等でPRを実施し、時刻表や路線図を適宜配布した。</p> <p>輸送人員の維持確保のため、九十九里町で通学定期の購入補助を実施した。</p> <p>フィーダー交通としてタクシーに対し利用助成を行い、バスの利用促進を図る</p>	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。(R6年度収支率60%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は7.46%悪化し52.54%となった。【目標の達成状況の要因(分析)】バス通学定期券購入補助の活用が好調であり、収入と乗車人員は増加したが、車両費・人件費・燃料費等の費用が増加し、キロあたり費用が大幅に増加したため。	・乗り継ぎしやすい運行ダイヤ調整を検討する等、利便性向上を図る。

資料 1-1

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月21日

協議会名:	九十九里町地域公共交通会議
評価対象事業名:	九十九里鉄道株式会社
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	輸送需要の減少により、地域住民の日常生活に必要なバス路線の維持が困難となっている現状を踏まえ、九十九里町地域公共交通会議において、九十九里町と近隣市とをまたぐ広域的・幹線的路線を、地域住民の通勤・通学・通院等に利用される重要な移動手段として位置付け、その維持・確保を図ることで、九十九里町にとって望ましく持続可能な地域公共交通の実現を目指す。 このため、町民・利用者、公共交通運行事業者、関係団体および行政機関が一体となって取り組みを推進することを目的とする。

協議会名・補助対象事業者名

九十九里町地域公共交通会議  
九十九里鉄道株式会社

系統名

片貝循環豊海線

事業の目的・必要性

- 東金駅への通勤通学並びに東金高校・東金商業高校・東金市役所・九十九里町役場までの交通手段
- 買い物客、観光客の交通手段

事業の概要・目標・効果

- 路線名 片貝循環豊海線
- 起点、経由地、終点 東金駅～家徳・幸田～東金駅
- 系統キロ 22.0km
- 運行回数 9.6回／日(平日10.0回、土日祝9.0回)
- 目標・効果 令和5年度と比較して収支率1%以上改善
- 利用促進・生産性向上の取り組み
  - ・バス事業者と関係市町が連携し、広報誌やHPでPRした。
  - ・九十九里町において、バス通学定期券購入補助を実施した。
  - ・バスの認知度向上及びバス利用の促進を図るため、時刻表や路線図を役場窓口で適宜配付した。
  - ・フィーダー交通としてタクシーに対し利用助成を行い、バスの利用促進を図った。

●直近3ヶ年の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
輸送人員(人)	29,371	22,692	22,918
経常収支(円)	▲2,228,220	▲7,043,966	▲9,241,265
収支率(%)	86.6	60.0	52.54
平均乗車密度(人)	2.7	2.8	2.7
補助金額(千円)	1,742	1,112	1,598

目標・効果の達成状況

【達成状況】

前年度と比べて、収支率は7.46%悪化した。

【目標の達成状況の要因(分析)】

バス通学定期券購入補助の活用が好調であり、収入と乗車人員は増加したが、車両費・人件費・燃料費等の費用が増加し、キロあたり費用が大幅に増加したため。

今後の改善点

乗り継ぎしやすい運行ダイヤ調整を検討する等、利便性向上を図る。

# 事業実施区域



大網白里市

東金市

東金市

九十九里病院

山武郡

九十九里町役場

- 【競合区間】
- 九十九里鉄道(株)
  - ・東金駅～本須賀線
  - ・東金駅～海の駅九十九里線
  - ・東金駅～片貝駅線
  - ・東金駅～サンライズ九十九里線
  - ・東金駅～白里線
  - (東金駅～サンピア～家徳～西の下～不動堂～幸田～サンピア～東金駅)
  - ・季美の森線 (東金駅～上宿)
  - ・九十九里ライナー
  - (西の下～新宿下～サンピア～東金駅)
  - ちばフラワーバス
  - ・フラワーライナー (片貝県道入口～上宿)
  - 東金市コミュニティバス
  - (東金市役所～サンピア～東上宿～吉橋団地)
  - (家徳横丁～荒生)

系統概要 (R6.10.1～R7.9.30)

系統	キロ程	平均運行回数	輸送量	経常収支	収支率
片貝循環豊海線	22.0km	9.6回/日	25.9人	▲9,241千円	52.54%

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

令和8年1月21日

協議会名: 九十九里町地域公共交通会議

評価対象事業名: 小湊鉄道株式会社

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鉄道株 大網サンライズ九十九里線	大網駅～白里海岸～サンライズ九十九里	町の広報紙やHP・SNS等にて利用促進のPR・情報発信を行い、利用者の増加を図る。九十九里町において、通学定期の補助を実施した。フィーダー交通としてタクシーに対し利用助成を行い、バスの利用促進を図る	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。(R6年度収支率68.3%)【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は16.79%悪化し51.51%となった。【目標の達成状況の要因(分析)】運賃改正により運賃収入の増加、学生定期補助の活用が好調であり、収入と乗車人員は増加したが、車両費・人件費・燃料費等の費用増加し、キロあたり費用が大幅に増加したため。	・通学需要や通勤需要の把握をし、より鉄道に接続しやすいダイヤ改正をし、収益を高めていく。

別添1-2

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月21日

協議会名:	九十九里町地域公共交通会議
評価対象事業名:	小湊鉄道株式会社
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>輸送需要の減少により、地域住民の日常生活に必要なバス路線の維持が困難となっている現状を踏まえ、九十九里町地域公共交通会議において、九十九里町と近隣市とをまたぐ広域的・幹線的路線を、地域住民の通勤・通学・通院等に利用される重要な移動手段として位置付け、その維持・確保を図ることで、九十九里町にとって望ましく持続可能な地域公共交通の実現を目指す。</p> <p>このため、町民・利用者、公共交通運行事業者、関係団体および行政機関が一体となって取り組みを推進することを目的とする。</p>

### 協議会名・補助対象事業者名

九十九里町地域公共交通会議  
小湊鉄道株式会社

### 系統名

大網サンライズ九十九里線

### 事業の目的・必要性

- 大網白里特別支援学校・大網高校への通学
- 大網市街地への移動手段
- 白里海岸等への観光客の移動手段
- 鉄道駅である大網駅への移動手段

### 事業の概要・目標・効果

- 路線名 大網サンライズ九十九里線
- 起点、経由地、終点 大網駅～白里海岸～サンライズ九十九里
- 系統キロ 14.8km
- 運行回数 13.0回/日(平日14.5回、土日10.5回)
- 目標・効果 令和6年度と比較して収支率1%以上改善
- 利用促進・生産性向上の取り組み
  - ・運賃改正により運賃収入の増加。
  - ・沿線自治体において、バス通学定期券購入補助を実施した。
  - ・関係市町の広報紙やHPにて利用促進のPR・情報発信を行った。
  - ・フィーダー交通としてタクシーに対し利用助成を行い、バスの利用促進を図った。

### ●直近3ヶ年の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
輸送人員(人)	73,669	81,273	98,220
経常収支(円)	▲10,146,711	▲13,471,665	▲32,851,490
収支率(%)	75.1	68.3	51.51
平均乗車密度(人)	3.6	4.7	4.2
補助金額(千円)	4,813	4743	4,267.3

### 目標・効果の達成状況

#### 【達成状況】

前年度と比べて、収支率は17%悪化した。

#### 【目標の達成状況の要因(分析)】

運賃改正により運賃収入の増加、バス通学定期券購入補助の活用が好調であり、収入と乗車人員は増加したが、車両費・人件費・燃料費等の費用が増加し、キロあたり費用が大幅に増加したため。

### 今後の改善点

- ・通学需要や観光需要の把握に努め、より鉄道に接続しやすいダイヤ改正を検討する。

# 事業実施区域



【競合区間】※自社路線  
・大網駅～弥幾野(大網駅～柿餅)

系統概要 (R6.10.1～R7.9.30)					
系統	キロ程	平均運行回数	輸送量	経常収支	収支率
(1)	17.1km	16.5/日	80.8	▲42,255千円	57.40%
(2)	14.8km	13.0/日	54.6	▲32,851千円	51.51%

# タクシー利用助成の利用状況

## 1. 九十九里町タクシー利用助成事業について

### ■ 助成対象者

九十九里町に住所を有する方で、以下のいずれかの条件を満たす方

- (1) 75 歳以上の方
- (2) 65 歳以上の方で運転免許証を自主返納した方

### ■ 助成内容

対象者 1 人につき 1 枚 500 円のタクシー利用助成券を 48 枚交付

※助成券は、1 年分（24, 000 円分）を一括して交付

### ■ 助成券の利用条件

- (1) 町内のみの運行

※以下の指定箇所は運行可能

【指定箇所：トウズ成東店、エービン成東本須賀店、セブンイレブン成東本須賀店】

- (2) 1 回の乗車につき、何枚でも助成券を使用できる。（おつりはなし）

※ただし、1 年間で使用できるのは 48 枚まで

- (3) 助成券の利用は対象者本人のみ

※身内、友人間でも譲渡不可

## 2. 申請状況

### ■ 月別申請者数(4月～12月 ※計528名)

・4月：218名	・9月：21名
・5月：117名	・10月：20名
・6月：54名	・11月：18名
・7月：52名	・12月：8名
・8月：20名	

### ■ 特徴

- ・4月、5月に全体の全体の半数以上が申請

## 3. 利用者、利用枚数の状況

### ■ 月利用者数

・4月：34名	・8月：136名
・5月：69名	・9月：127名
・6月：119名	・10月：133名
・7月：121名	・11月：126名

### ■ 月利用回数(乗車時利用回数)

・4月：67回	・8月：352回
・5月：264回	・9月：290回
・6月：314回	・10月：316回
・7月：343回	・11月：259回

■ 月利用枚数(1乗車あたり平均で3.2枚利用)

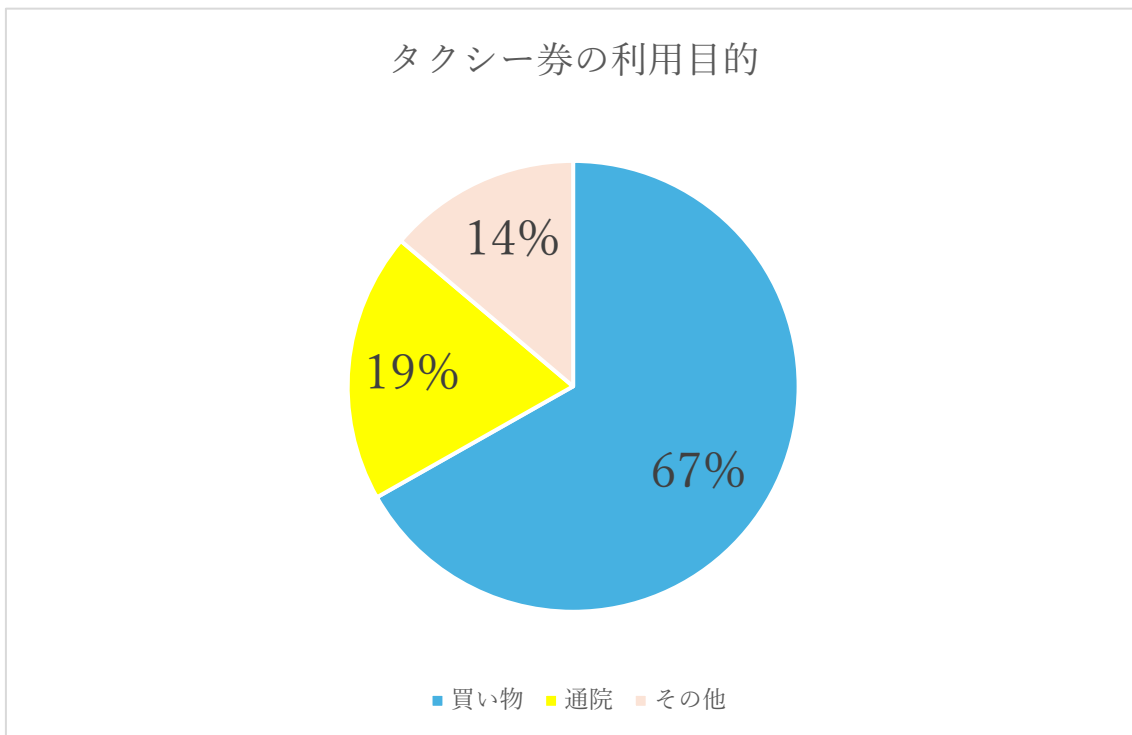
・4月: 237枚 平均3.5枚	・8月: 1137枚 平均3.2枚
・5月: 909枚 平均3.3枚	・9月: 945枚 平均3.3枚
・6月: 1034枚 平均3.2枚	・10月: 1017枚 平均3.2枚
・7月: 1117枚 平均3.3枚	・11月: 829枚 平均3.2枚

※月利用枚数÷月利用回数=1乗車当たりの平均利用枚数

■ 利用者の行先(4月～11月)

※利用目的は買い物、通院、その他とした

※その他の主な行先はサンライズ、役場等であった



■ 特徴

- ・ 利用者数は 8月からは130名前後で推移
- ・ 利用目的は買い物が67%である

#### 4. 申請者と利用者の関係性

- 申請者数：528名
- 利用者数：286名
- 利用率：54.2%

→ 申請者の半数以上が実際に利用している

# バス通学定期券購入補助の利用状況

## 1. バス通学定期券補助制度の概要

### ■ 補助対象者

以下の(1)から(3)のすべての要件を満たす者

- (1)学校教育法で規定される中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校（小学部は除く）、大学、専門学校、専修学校に在籍している者
- (2)九十九里町内に住所を有する者
- (3)通学定期券（1カ月、3カ月、6カ月、学期定期）を購入し路線バスなどで通学する者

### ■ 申請者

上記の(1)から(3)のすべての要件を満たす生徒の保護者または本人

### ■ 補助内容

定期券購入費の2分の1（1年あたり12万円上限）

※申請後、町指定のバス事業者定期券販売窓口にて補助額差引後の価格で定期券の購入が可能になる。

### ■ 補助対象となる町指定のバス事業者

- ・九十九里鉄道株式会社
- ・小湊鉄道株式会社
- ・京成バス千葉イースト株式会社

## 2. 申請者および利用者の状況

### ■ 申請者数

申請者は 41 名（男 17 名 女 24 名）であり、その内訳は以下のとおり。

区分	人数	内訳
高校生	33 名	1 年 16 名、2 年 8 名、3 年 9 名
専門学生	4 名	1 年 2 名、2 年 2 名
大学生	4 名	2 年 3 名、3 年 1 名

### ■ 利用者数

定期券を購入した利用者は 34 名（男 12 名 女 22 名）であり、申請者の約 83%に相当する。

区分	人数	内訳
高校生	27 名	1 年 12 名、2 年 7 名、3 年 8 名
専門学生	3 名	1 年 1 名、2 年 2 名
大学生	4 名	2 年 3 名、3 年 1 名

### ■ 利用率

計 83%

特に初年度の高校 1 年生の利用者が多い。

### 3. バス事業者別の利用状況

事業者	利用者数	主な利用者層
九十九里鐵道	27名	高校24名、専門3名
小湊鐵道	5名	高校1名、大学4名
京成バス千葉イースト	2名	高校2名

### 4. 行先駅別の利用状況

最寄り駅	利用者数	割合
東金駅	27名	79%
大網駅	5名	15%
成東駅	2名	6%

東金駅方面の利用が突出しており、地域の通学動線が東金方向に集中している。

### 5. 平均購入金額

#### ■平均購入金額

- 高校生：98,887円
- 専門学生：88,487円
- 大学生：81,187円



## 国の地方創生臨時交付金を活用した公共交通事業者支援について

「強い経済」を実現する総合対策に基づき、物価高騰の影響を受けた生活者及び事業者への支援を継続的に行うため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が拡充され、国から「地域公共交通・物流や地域観光業等に対する支援」を含む「推奨事業メニュー」が示されました。

これを受け、本町においても、本交付金を活用した地域公共交通事業者の支援を実施します。

### 【支援事業の概要】

#### <事業名>

公共交通事業者支援事業

#### <事業内容>

運転手不足等による稼働率の低下やエネルギー価格の高騰により厳しい経営環境に直面している公共交通事業者について、エネルギー価格高騰が企業経営に及ぼす影響の緩和を図り、地域に必要不可欠な公共交通手段を確保するため、事業継続を支援します。

#### <事業費> 7,500 千円

##### ・支援額内訳

1 事業者あたり	500 千円×4社	(2,000 千円)
バス1系統あたり	300 千円×17系統	(5,100 千円)
タクシー車両1台あたり	100 千円×4台	(400 千円)

#### <事業時期>

令和8年1月から令和8年3月

#### <所 管>

企画政策課地域政策係